

令和4年第12回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和4年11月24日(木) 午後1時30分～
開催場所 恵那市役所 西庁舎 4A会議室
出席委員 教 育 長 岡 田 庄 二
教育長職務代理者 西 尾 修 欣
委 員 後 藤 伸 子
委 員 樋 田 千 史
委 員 村 松 訓 子

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長 西 尾 朋 子
事務局長 長谷川 幸 洋
事務局次長兼教育総務課長 佐々木 和 美
教育総務課総務係長 原 久 晃

議 題

議案審議

- 1) 令和4年度12月補正予算(案)に関する意見について (議案第25号)

報告事項

- 1) 恵那市教育委員会の委員の任命について (報告事項 1号)
2) 恵那市教育環境等検討委員会について (報告事項 2号)
3) 小中学校屋内運動場空調設備設置事業について (報告事項 3号)
4) 令和3年度教育委員会点検・評価報告書について (報告事項 4号)
5) スクールロイヤール事業の導入について (報告事項 5号)
6) 物価高騰による私立保育所等への支援について (報告事項 6号)
7) 村上佳菜子氏によるスケート教室及びトークショーの開催について (報告事項 7号)
8) 児童及び生徒による快適な避難所をテーマにしたプレゼンテーションの実施について (報告事項 8号)
9) 介護人材育成修学資金貸付事業について (報告事項 9号)
10) 恵那市道路沿いの危険木伐採事業補助金の創設について (報告事項10号)
11) 令和4年度教育委員会重点目標の進捗状況について (報告事項11号)
12) 恵那市の園小中学校のトピック(12月)について (報告事項12号)
13) 恵那市中央図書館月別利用状況 (報告事項13号)
14) 中山道広重美術館月別観覧者数 (報告事項14号)
15) 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数 (報告事項15号)
16) その他 (報告事項16号)

開 会 (午後1時30分)

教育長 令和4年第12回恵那市教育委員会定例会を始めます。

1 会議録署名者の決定

教育長 日程第1、会議録署名者の決定。

2 会期の決定

教育長 日程第2、会期の決定。令和4年11月24日、1日間。

3 会議録の承認

教育長 日程第3、会議録の承認。

4 教育長の報告

教育長 では、日程第4、教育長の報告です。

前回の教育委員会から、土日も含めて行事が多くありました。主なものをご報告させていただきます。

まず、教育長訪問は会議が重なって行けなかったところがありますけれども、日程は全て終わりました。

それから、研究発表会が多い時期でした。飯地小学校のへき地・複式教育研究会、岩邑小学校の市の指定発表会、それから、東濃特別支援教育の関係で発表が大井小学校、大井第二小学校と、恵那東中学校も市の指定発表会を兼ねて行いました。それから、長島小学校は、道徳教育のパワーアップ事業ということで、来年が本発表ですが、今年は中間発表をしていただきました。共通して言えるのは、どの学校も児童生徒の姿がよかったということです。先生方に勢いがあり、元気で、そして表情もよかったと思います。また、研究の内容等が分かりやすいです。分かりやすいけど奥が深いという、主題になっていたと思います。

それから、県の教育長さんが学校を見にいらっしゃるというスクールミーティングがあって、これはテーマをもっていらっしゃるものです。今年は「ふるさと教育」ということで、恵那市で学校を見せたいということ、恵那北中学校と中野方小学校で行われました。どちらの子供たちも堂々としていましたし、ふるさと学習の取組がよく分かるように、中学校も小学校も、工夫して発表してくださいました。印象的だったのは、小学校でバイオリンをやっているの、6年生の子がバイオリンを演奏しました。何曲か演奏しましたが、「大きな古時計」の曲をやったときに、県の教育長さんが突然「よかったね」「ちょっと歌いたくなってきたからもう一回やってくれない」と言われて、「僕たちが歌うから、もう一度演奏して」ということで一緒に歌い始めました。県教育長は以前合唱もやってみえたということで実にいい声で歌ってみえました。子供たちも一緒に歌うことができました。小学校でやっているふるさと学習は、学年別々、ばらばらで学習しているように見えますが、中学校で上手にそれの一つにまとめるようなふるさと学習を継続してやっていることで、私達から見ても一体感を感じたところです。

次に、11月9日に、B&G全国教育長会議が東京でありました。186名の方が参加されました。そこで、広島県教育委員会教育長さんによる基調講演がありました。「根源」「長期」「多様」という言葉を大事にしながら子どもたちのために務めているということでした。そして、2つご実践を話されました。一つは、図書館のリニューアルのことです。「図書館は静かに本を読むところですけど、楽に本が読める場所であってもいいですね。ソファが置いてあったり、寝っ転がって読めるような場所であってもよいのでは」というようなことや、本が入っている書架ですが、大体どこの小中学校もびっしり本が詰まっています。余裕を持って本が並べられていると子供たちは選びやすいのではというようなことを教えていただきました。

もう一つは、「生きるって何」という学習を特に職業系の農業高校や工業高校でスタートをして、全部の高校、それから全部の小中学校にも進めたいと言ってみました。「生きるって何」。要は、自分が生まれてからこれまでのところを振り返って行く中で、いろいろな人との関わりを見つめ直して頑張ろうという主体的な子どもを育てたいということを紹介していただきました。

また、岐阜県高山市の教育長さんが、不登校支援について発表されました。教育支援センターの充実に向けての発表でした。

次に、10月18日、19日の嚶鳴フォーラムでは、岩邑小学校の6年生の群読、岩邑中学校の生徒が商品開発した物等販売もありましたけれども、できる範囲の中で工夫してやってくさったということを思っています。

それから、ジュニアエコノミーカレッジ in 恵那が恵那市役所前の会場で行われました。市内の小学校から10チームが参加しました。9月から時間をかけて取り組みますが、子どもたちだけで会社をつくり、物をまちなか市で売って、その収支等も含めて納税をし、納税した金額にプラスアルファをした金額が学校に還元されるということです。商売というか、商業の仕組みを学びながら、恵那の産業等に関心を持っていただくという取組で、私は10チーム全部と話をする機会がありました。「本当に楽しかった」「またやりたい」と言っていました。もう一つ印象的なのは、保護者の方が本当に楽しそうで、とてもよい表情でした。行事が多かったですが、子どもたちの頑張っている姿がいろいろなところで見ることができたと思っています。

私からは以上でございます。

5 教育委員の報告

教育長 日程第5、教育委員の報告をお願いします。

委員 私からは、2点お話をしたいと思います。

まず1点、嚶鳴フォーラムです。大変すばらしいイベントであったというふうに思います。途中経過で、入場者、入場希望がもう一つ伸び悩んでいると話も聞いていましたが、ほぼ満席でした。それから、終わって外に出ましたら楽屋で出待ちの結構長い行列ができたというようなことで、人が集まればいいというわけではないですが、よいイベントだったと思います。

先ほどのお話の中で、東海市が中心となって動いているという話ですが、この子ども嚶鳴フォーラムは恵那市だったからできたと思っております。そういったことで、もう少しアイデアを出すともっと見栄えがよかったと思いました。よい事業であったと思います。生涯教育課を中心として準備をされ、大変ご苦労さまでありました。ありがとうございました。

もう1点、連合会研究総会分科会の件です。私は、第1分科会でふるさと学習について川辺町よりボート・カヌーの発表がありました。中学校でも立派な漕艇庫を持っていて、いつも練習しているというような話をしておられました。グループディスカッションの中で、恵那市にも恵那峡があり、昔から恵那高校のボート部が練習の拠点にしていると。また、下流である笠置峡に新たに整備されたカヌー場ができ、ポーランドのオリンピックの事前合宿も誘致したという発表もさせていただきました。川辺町の話聞いたときに、川辺町は飛騨川になり、恵那市は木曾川ですから、川筋が違いますが、子どもたちがボート・カヌーに取り組んでいるということで、交流するもことができるとよいと思いました。それぞれの小学校・中学校、高校となると八百津高等学校や恵那高等学校が有名ではありますが、小中学校でボート・カヌーに取り組んでいるというのは、県内でも多くはないと思います。同じことに取り組んでいるので、何かの交流ができるとよいと感想を持ちました。

それと、ふるさと学習についてというテーマでしたので、恵那市のふるさと読本を1冊持っていきました。グループの皆さんに見ていただいて、恵那市ではこんなことをやっていますよ、小学生に配って副読本として授業でも使っていますよという紹介をしてきました。「いいですね」という感想も頂きました。今現在9冊出ています。今後とも取り組んでもらえるとよいと思いました。

以上です。

教育長
委員

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

はい。まず、嚶鳴フォーラムです。私は欠席でしたが、すごく盛況に終わったということでよかったです。知り合いの中学生の保護者の方は、鈴木亮平さんが来ることを知らない方もいらっしゃる、学校でチラシを配っていますが、見ていない人は見ていないと感じました。あと同じ日に、恵那東中学校が授業参観でした。その日、午後から子供が発表する嚶鳴フォーラムと重なっていました。嚶鳴フォーラムは、恵那市で大々的に行うので、優先してスケジュールを立てられるとよかったです。

あと、教育長訪問は、東野こども園、おさしま二葉こども園、城ヶ丘保育園へ行かせていただきました。人数が少ないところ、しかも、コロナで10人ぐらい休んでいた、東野こども園は30人に満たない子どもの数で、一方、おさしま二葉こども園、城ヶ丘保育園は200人ぐらいの大規模こども園。どちらもよさがありますね。小さいところは一人一人、丁寧に子どもたちを見ているし、子どもの自由な時間、やりたいことをまず優先させて、先生方がフォローしていくというようなゆっくりと時間が流れていました。一方で、二葉・城ヶ丘は、子どもたちも先生も強い感じ。たとえ転んでも「あ、大丈夫」って声を先生方がすぐフ

フォローはしない。子どもたち自身がフォローしあって立ち上がるしかないみたいな感じで、先生方もあれだけの人数を本当によくまとめている、子どもたちが自分自身で何とかやっけていかなきゃという心意気があるように感じました。対照的なこども園を見させていただいて、すごく楽しかったし、どちらも本当によいと思いました。

あと、11日の連合会研究総会は、命の授業の分科会に参加しました。そこは、がん教育ということで、外部の先生をお招きし、がん患者の方を取り巻く環境の話がありました。がんになったとしても絶望することじゃないよ、これで生きていく、よりよく生きていく道はたくさんあるよということ子どもたちに伝えていると話をされていました。あとは、どうしてがん教育をするようになったかを聞かれた方がいました。恵那市もそうですが、検診をされる大人が少ない。がん検診をされ、初期に見つければもっとよい対処法があるということで、まずは子供たちにその大切さを知ってもらい、大人に広めてもらいたいと話をされていました。あとは、がん教育をされる医師の方に出会ったことで、その方の話がとてもよかったので、子どもたちにもぜひ伝えたいと始めたということでした。私は他の教育委員の方と話をしましたが、いろいろな取組、それぞれで命の授業をされていて、大事なものは、方法は何でもよいこと、子どもたち自身が自分の命を大切にすること、人の命を大切にすること、そういう気持ちにつながるのであれば、方法はいろいろあるから、それぞれ独自でやっけていけるとよいという話でまとまりました。

その中で、土岐市の教育委員さんが、自分が学校現場にいたときに、子どもたちが逆立ちできないことにすごく驚いて、恵那でいうかけっこ教室みたいな感じの授業を、子どもたちがもっとスポーツをよりよくできる授業を取り入れてくれということで市長に直談判して、それぞれの学校で1時間ずつでも授業に取り組めるようにしたという話をされていました。体づくりということで、話を聞いて恵那市もよい取組をしていると感じました。あと、教育委員同士で交流があるとよいという話もありました。

以上です。

教育長
委員

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

一つ目は、研究発表会に行きました。岩邑小学校と恵那東中学校、大変よかったです。先ほど教育長さんも言われましたが、本当に子どもがよく動いて、先生方も元気がある。これが本当にうれしかったです。それから、研究テーマも本当に分かりやすい。欲を言うと、例えば、岩邑小学校でいうと、「そうか」、それから「できた」、「分かった」というテーマだと思いますが、授業中に子どもから出るとよいと思いました。研究テーマに直結している感じで、先生だけのものにならずに、子どもが「あ、そっか」というと、すごい発表になったと思いました。要は、恵那東中学校も、岩邑小学校も、授業で何を学習するかということが子どもたちはよく分かっている。だから、安心して授業に取り組んでいる姿がありました。先生方はよくやっけたと思いました。大変よかったですと思います。ぜひ校長会でも褒めてください。お願いします。

二つ目は、連合会研究総会、第2分科会働き方改革に参加しました。多治見市の部活が地域型になっている発表でした。協会の方が頑張っているということで、地域の講師が各学校へ入っていく、大変よいシステムです。恵那市もあるとよいという話をしました。働き方改革というと、顧問は時間数が多いから部活をやめる。それは違っている気がします。部活を教えたい先生もいるわけで、一生懸命やりたい。そういう人たちは部活をもったほうがよいと思います。ただし、部活を担当している人も担当していない人も偏見を持たないように、互いに変な思いをしないシステムになるとよいと思います。

他県でしたが、部活を担当するのは任意で行うと記事を読んだことがあります。中学校の先生方には部活も一生懸命やりたい人もいます。その人のやりがい働き方改革で狭めていくというのは、何か教育とずれていくような気がしました。

以上です。

教育長 ありがとうございます。次の委員をお願いします。

委員 はい。嚶鳴フォーラムは、皆さんの感想と同意見でした。連合会研究総会ですが、私は第4分科会でした。大野町や北方町の委員さんと一緒でした。偶然、皆さん2期目で、教育委員としての取組の話をしたときに、ほかの委員さんたちは自営業で、バラ園や柿農家の仕事をしてみえました。学校に対して地域の児童生徒の応援団ということで活動していらっしゃっていて、自分の後継者の育成も兼ねて、中学生の職業体験を毎年受け入れている話をされたり、剣道の指導で児童生徒と関わって、学校にも伺っていますという話をされていました。生活の中で地域の学校の応援団として心がけてみえることがそれぞれあって、挨拶運動に参加されたり、登下校の見守り隊に入ってみえたり、強制じゃなく自分の許す時間に行って関わり、ボランティアに参加してみえました。私も児童や生徒と接していますが、それは仕事であって、自分の空いている時間に自ら他の学校に行くことは、そんなにしていないなと思い、身を正す思いで刺激を受けてきました。分科会は自由に話せる場があり、他の委員さんたちと交流できるので、続けてほしいと思いました。

あと、恵那東中学校の研究発表会です、初任の先生が他の先生の授業を見て、刺激を受けて、よいところをみんな盗んで自分の授業に生かしていく、ちょっとしたことでも「あ、使えそう」と思ったことを即、自分の授業で試してみえるという姿があり、すごく感激して、研究会の意味があるということを実感しました。

以上です。

教育長 ありがとうございます。

6 協議事項

教育長 それでは、日程第6議案審議に移ります。

議案第25号令和4年度12月補正予算(案)に関する意見について、説明をお願いします。

副教育長、事務局長、次長兼教育総務課長

議案第25号令和4年度12月補正予算（案）に関する意見について説明。

教育長 ご質問はありませんか。よろしいですか。

では、この議案が議会で付議されますので、よろしくお願いします。

報告事項

教育長 続けて報告事項に移ります。

報告事項第1号、恵那市教育委員会の委員の任命について説明をお願いします。

次長兼教育総務課長 報告事項第1号、恵那市教育委員会の委員の任命について説明。

教育長 続いて、報告事項第2号、恵那市教育環境等検討委員会について説明をお願いします。

次長兼教育総務課長 報告事項第2号、恵那市教育環境等検討委員会について説明。

教育長 ご質問はありませんか。

委員 この委員会からは答申をもらうわけではない。まだ諮問はしないということですね。

次長兼教育総務課長 はい、していません。

委員 まだ諮問がしていないから、提言書が出てくるということですね。

今、事務局でプロセスを作っているということですが、内容はまとまっていますか。

次長兼教育総務課長 まとまっています。今度の第3回恵那市教育環境等検討委員会に提出する準備はできています。

委員 11月29日に開催ですね。

次長兼教育総務課長 はい。

教育長 ほかにはよろしいですか。

続いて、報告事項第3号、小中学校屋内運動場空調設備設置事業については、先ほど議案第25号、補正予算のところで説明がありましたので、報告事項第4号、令和3年度教育委員会点検・評価報告書について、別冊の資料にて説明をお願いします。

次長兼教育総務課長

報告事項第4号、令和3年度教育委員会点検・評価報告書について説明。

教育長 ご質問はありませんか。

ご意見も、本当に教育委員会はよくやってくださっている、現場を見て、その都度対応をしてくださっているということで、子供が中心にある、子供のためにということを非常に評価していただきました。そういう姿勢でずっとやっていただきたいというお話でした。

続いて、報告事項第5号、スクールロイヤー事業の導入について、説明をお願いします。

副教育長 報告事項第5号、スクールロイヤー事業の導入について説明。

教育長 ご質問はありませんか。

委員 スクールカウンセラーとは違いますか。

副教育長 はい、違います。

委員 児童相談センターとも違いますか。

副教育長 違います。

委員 トラブルが起きたときにどう対応をしたらいいのか、先生が弁護士に相談することですね。

副教育長 そうです。基本は管理職が弁護士の先生に相談します。

教育長 要するに、法的な側面から支援を受けるということです。

委員 弁護士の面接はしていますか。

副教育長 市の顧問弁護士さんのご助言を頂きながら、岐阜県の弁護士会を通じて、今、私たちのニーズに合う弁護士さんを紹介していただいて先日、面接に行ってきました。

委員 スクールロイヤーという弁護士さんを頼らなくてはならない事案がないにこしたことはないと思います。タイムリーにスピーディーに対応をしてくださる先生でないと困るだろうと、それにふさわしい弁護士さんのようで安心しました。何か事が起きると、最終的には学校現場で子供同士、あるいは親も含めての解決策を取るのは今までと同じなわけですね。弁護士の先生は、法的なアドバイスをしていただく、いわゆるアドバイザーのような立場ですね。先生方に相談する事案がないことを願うばかりです。

副教育長 今、岐阜県の中でもスクールロイヤー制度を入れているのは、岐阜市、可児市、関市の大きな市です。この2人の弁護士さんからは恵那市で事案がたくさんあるのですかと聞かれました。今、取り立ててということはないけれども、日常的に相談したいことはどの学校も少なからず出できます。制度をきちっとつくっておくことが学校運営上の安全・安心につながり、保護者の方と一緒に子どものことについて解決していくには必要な制度だと思いますので、何とか軌道に乗せて、子どもにとって学校にとってメリットがあるようにしていきたいと思えます。

事務局長 顧問弁護士ではないので、訴えられたときは委託した弁護士が出ていくしかない。これはあくまでスクールロイヤーとして、法的な立場で相談人みたいな形で全部の学校を面倒見てもらうということです。訴訟までいくような話になったときは顧問弁護士に頼みます。

委員 理解しました。

委員 それぞれの学校で相談をするということですが、その相談内容というのは、学校教育課へ報告がきますか。

副教育長 もちろん報告がきます。

委員 ありがとうございます。

教育長 スタートするといろいろなこともあると思いますが、そのときそのときで対応をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

では、報告事項第6号、物価高騰による私立保育所等への支援については、先ほど議案第25号、補正予算のところで説明がありましたので、報告事項第7号、村上佳菜子氏によるスケート教室及びトークショーの開催について説明をお願い

- いします。
- 事務局長 報告事項第7号、村上佳菜子氏によるスケート教室及びトークショーの開催について説明。
- 委員 入場料は無料ですか。
- 事務局長 スケート教室に参加する方は500円要ります。
見る方は、少し離れたところで見ることになりますが、真ん中にある、サブリンクの周辺部はご家族が入れて、それ以外の方が見るには、大きなリンクの周りか、または観覧席から見ることはできます。それは無料です。
- 委員 トークショーは無料ですか。
- 事務局長 トークショーも無料です。
- 委員 文化センターの人数制限はありますか。
- 事務局長 898人です。観覧席が1,000席分くらいあるので、特に人数制限ありません。
- 教育長 貴重な機会ですので、よろしければぜひ行ってください。お願いします。
続いて、報告事項第8号、児童及び生徒による快適な避難所をテーマにしたプレゼンテーションの実施について、説明をお願いします。
- 副教育長 報告事項第8号、児童及び生徒による快適な避難所をテーマにしたプレゼンテーションの実施について説明。
- 教育長 ご質問はありませんか。
- 委員 子ども達から提案してもらい、すぐに取り入れていくとか、取り入れていかないとか、検討をしますか。
- 副教育長 できるだけ、子どもの気づきや改善点を取り入れていきたいという思いで行うものです。
- 事務局長 これは教育委員会が聞くのではなくて、市長が聞くというものです。市長、議長が聞くことによって予算化していく。子どもたちの提案をどういう形に運営化するというのが次の課題になってくるわけです。教育委員会サイドではなくて、防災の意識の中で、危機管理課で予算化をするということです。
- 委員 この提案作りにアドバイザーや指導者がいるのですか。
- 事務局長 防災士が関わっています。
- 委員 この生徒たちは皆さん、防災士の資格を取っている子に限るわけではなく、希望者ですか。
- 副教育長 恵那東中学校の2年生の子は、防災士の資格を取っていると聞いています。
- 教育長 続いて、報告事項第9号、介護人材育成修学資金貸付事業について説明をお願いします。
- 事務局長 報告事項第9号、介護人材育成修学資金貸付事業について説明
- 教育長 ご質問はありませんか。
続いて、報告事項第10号、恵那市道路沿いの危険木伐採事業補助金の創設について、説明をお願いします。
- 事務局長 報告事項第10号、恵那市道路沿いの危険木伐採事業補助金の創設について説明。

教育長 ご質問はありませんか。

委員 基本的に民地ですね。

事務局長 そうです。

教育長 続いて、報告事項第11号、令和4年度教育委員会重点目標の進捗状況について、説明をお願いします。

副教育長、事務局長、次長兼教育総務課長
報告事項第11号、令和4年度教育委員会重点目標の進捗状況について説明。

教育長 どこからでも結構です。ご質問等ありましたらお願いします。

委員 10番の集団不適應児童生徒の件です。通級へ128名と言われましたが可能ですか。

副教育長 今もそうですが、時間割の中で調整しながらやっています。1週間に2回の子どもや1回の子どもが実情としてあります。

委員 1年間いるわけではないと思いますが、増えていることを心配しています。

副教育長 他市も同じ状況で、どんどん増えてきています。中学校で通級指導教室をつくらないといけないといって、設置している市もあります。あと、自閉・情緒学級で言うと、東濃全体として、恵那市もそうですが、小学校6年生の時点での自閉・情緒学級に在籍している人数よりも、中学1年生に在籍している人数の方が多いという実情です。

教育長 他にはよろしいですか。
続いて、報告事項第12号、恵那市の園小中学校のトピックについて説明をお願いします。

副教育長 報告事項第12号、恵那市の園小中学校のトピックについて説明。

教育長 よろしいですか。続けて、報告事項第13号 恵那市中央図書館月別利用状況、第14号 中山道広重美術館月別観覧者数、第15号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数の利用状況について、一括で報告をお願いします。

事務局長 報告事項第13号 恵那市中央図書館月別利用状況、第14号 中山道広重美術館月別観覧者数、第15号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について説明。

教育長 よろしいですか。続いて、報告事項第16号、その他ということで、12月の行事予定について説明をお願いします。

事務局長 12月の行事予定について説明。

教育長 行事予定について、ご質問はありませんか。

委員 20歳を祝う会の会場はどこですか。

事務局長 恵那文化センターでお願いします。

教育長 他にはよろしいですか。
10月分の後援申請については54ページに3件載っております。ご確認をお願いします。
それでは、コロナ関連の報告事項について説明をお願いします。

事務局長 コロナ関連の報告事項について説明。

教育長 他はよろしいですか。

- 委員 嚶鳴フォーラムの後援に実践女子学園の名前がありましたが、下田歌子先生はほとんど出番がなかったけど、実践女子学園には後援をしてくれたということですか。
- 事務局長 嚶鳴フォーラムの中では、3人というところで、下田歌子先生の業績と山本芳翠の業績は、集会室の中に展示させていただいて、3人の先人の話をしました。先人顕彰にはすごく理解をさせていただいて、実践女子学園のほうも後援には名前を上げていただいたところです。
- 委員 大畑前教育長さんが文部科学省で賞をいただかれたという話を聞きました。恵那市教育委員会としても、前教育長がいただかれたというのは誇らしいことであり、報告があってもよいと思いました。
- 教育長 失礼しました。これは恵那市から申請したものではなく、県から申請して、表彰されました。
- 教育長 他はよろしいですか。
- 次回ですが、第13回定例会の開催日は12月22日木曜日の午後1時半からということですので、よろしく願いいたします。
- それでは、令和4年第12回恵那市教育委員会定例会を閉会いたします。
- 午後3時43分閉会を宣言。

令和4年11月24日

教育委員 後藤伸子

教育委員 村松訓子